

令和6年2月吉日

保護者の皆様

弥富市立栄南小学校長
加藤 結花

学校評価アンケートの集約結果について（ご報告）

日頃は本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、12月に保護者の皆様に「学校評価アンケート」をお願いしましたところ快くご回答いただき、ありがとうございました。保護者アンケート及び児童アンケートの集約結果は裏面の通りです。この集約結果を参考にして、今後の栄南小学校の教育活動のあり方を考え、いっそう保護者や地域の皆様に信頼される学校をめざし、努力していききたいと思います。

【アンケート結果から】

- ・ 質問項目ごとに、「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせて80%以上のものを「A」80%未満から60%以上を「B」60%未満を「C」と設定しました。保護者アンケートでは昨年に続き全項目でA評価を得ることができました。児童アンケートでは、20項目中、A評価が18項目、B評価が2項目、C評価はありませんでした。
- ・ 話し合い活動を中心にした、分かりやすい授業作りに取り組みました。中でも、「先生は、がんばったことやよくできたことをほめてくれる」の項目で保護者は100%のA評価でした。これからもどの子にも分かる授業を目指して研鑽し、児童の成長を認める言葉がけをしていきます。
- ・ 「家で授業の復習や自主勉強をしている」の項目で、児童はB評価で昨年度より15%減少しました。えいなんタイムでの自主学習の見直しや家庭学習の方法について検討していきます、家庭学習の習慣が身につくようにしていきます。
- ・ 「いじめのない学校づくり」では、保護者アンケートにおいて、肯定的評価の割合が83%から90%に増加しました。教職員間の情報共有を密にしながら、継続して丁寧に支援をしていくことが重要であると考えます。また、今後もアンケートを元にした担任と児童の教育相談やスクールカウンセラーと全児童との面談も引き続き行い、いじめの早期発見に努めていきます。
- ・ 「えいなん合言葉」を軸に生活面の指導をしています。「あいさつ」「返事」「はきものをそろえる」「話は目を見ながら聞く」のアンケート結果は教職員が大幅に増加しました。しかし、あいさつをするとき、恥ずかしさから声が小さかったり、うつむいてしまったりするので、学校で指導してほしいという保護者の意見もありました。笑顔であいさつができるように児童会を中心に取組を工夫していきます。
- ・ 「規則正しい生活を送っている」の項目では保護者アンケートがA評価で、児童は昨年度のA評価からB評価になりました。養護教諭を中心に、家庭と連携を取りながら、規則正しい生活をして心も体も健康でいられるように全校で取り組んでいきます。
- ・ 家庭地域との連携について、保護者による評価ではすべての項目で上昇しました。特に、「学校は地域や家庭との連携を深め、地域や家庭の教育力を活用している」の項目で昨年度より11.5%増加しました。今後も、見守り隊との協力や地域の店への探検学習などの活動を行い、地域の力を学校に活かしていきます。

「限られた時間の中で最大限の対応をしていただいている」「こまめに連絡をくれる」「一緒に遊んでくれる」「学校ホームページで野外活動や修学旅行の様子を即アップしてくれてよかった」など、保護者の皆様から職員が努力していることのお礼やご意見も多数いただきました。今後も、教職員一同「笑顔と協働の学校づくり」を目指していききたいと思います。